証明書請求



無所属
小原 健一（おはら けんいち）議員

証明書の郵送請求利便性向上を

答弁 運用改善の検討を進めていく

問 現在本町において、各種証明書を郵送請求する際の発行手数料の支払いは、定額小為替を同封する方式がとられている。この方式のデメリットは、定額小為替の購入には額面を問わず、1枚当たり200円の発行手数料が発生することである。加えて、購入可能な場所と時間帯も非常に限定的となっている。利便性向上のため、納付方法を多様化するよう運用の改善が必要ではないか。

答 本町でも、手続きや受領した定額小為替の管理等に係る事務負担が生じている。地方税の納付で利用されている地方税統一QRコード「eL-QR」を活用した納付の仕組みが、令和8年9月24日からは地方税以外の公金にも対象が拡大される予定である。この仕組みを活用して、eL-QRを印字した納入通知書を発行できないか、令和9年度中の導入に向けた検討を進めていきたい。



支払いを便利に

スポンサー制度導入は

問 企業や団体に図書館で配置する雑誌の購入費用を負担するスポンサーとなっていただき、最新号の雑誌に広告を掲載し、図書館利用者が閲覧できるようにする制度を本町でも導入できないか。

答 実現できれば、図書館サービスの充実につながる取り組みであると考える。指定管理者と協議の上、先進自治体の事例を調査研究し、導入に向けて検討していく。

接種の拡充



公明党
大瀧 金三（おおたき きんぞう）議員

新20価ワクチン接種の拡充は

答弁 高齢者を対象に任意接種を拡充

問 従来の23価肺炎球菌ワクチンの抗体は5年から7年とされていた。新しく定期接種に認可された20価肺炎球菌ワクチンは長期間抗体が続くとされていることから、65歳以上の全ての高齢者を対象に拡充する考えは。

答 現在、本町の独自施策として実施している再接種費用の一部助成の対象者を令和9年度から広げ、23価肺炎球菌ワクチンの接種後5年以上が経過し、再接種を希望する方を追加する。また、65歳以上で過去に定期接種の機会を逃した高齢者も任意接種の対象とする。接種機会を拡充し、高齢者の疾病予防に一層努める。

1か月児の健康診査

問 県内41市町中、本町を含む10市町が令和8年度に1か月児健康診査事業の公費負担を実施していないが、本町が公費負担を実施しない理由は。

答 産後うつの早期発見と支援のため産婦健診の公費負担を先行して実施したためである。

しかし、1か月児健康診査は、疾病や異常の早期発見に重要であるため、令和9年度からの公費負担の実施に向け、加古川医師会と調整している。

その他の質問

■ ■ 非喫食児童生徒に対する支援は

■ 新型コロナウイルス感染症の現状は



私がいただいた予防接種手帳

『議員とホンネトーク』でのご意見・ご提案

多様な人材と議員報酬②

議員とホンネトーク『みんなで話そう議員の仕事と報酬のこと』を町内4か所のコミュニティセンターで開催いたしました。（令和8年7月25日・26日、8月1日・2日）
ホンネトークで聞いた住民の皆さんの声をもとに、議員報酬のあり方を見直し、若者や女性、現役世代など、多様な人材が議員を目指せる議会をつくります。

議員の力が町の成長につながる。
報酬に見合う活動であれば、住民も喜ぶ。
活力ある議会にしてください。



議員報酬を上げるのであれば、さらなる職務への集中を。若い方が立候補できる環境づくりを。



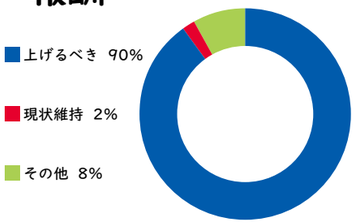
報酬が上がると、町民の税金が上がってしまうのが心配。
☞（安心してください、上がりませんよ！）



報酬を上げるのには大賛成だが、上がった後の活動量調査を実施して検証することが必須。



報酬



出席率＋公的行事＋等々を反映した報酬にされてはいかがですか。



汗かいていただければ、その分上げるべき。
現状は安いと思う。



報酬を上げて立候補者が増えることで、議会の活性化につながる。



周辺自治体の市町と比較しても報酬は低すぎる。
生活できない。



※連合婦人会・商工会との議会報告会でのご意見も含みます。

＼ 議員報酬の提案は議会改革の一部です！ ／

議会改革は継続します！

町民の皆さまのご期待に応えられるよう下記の取り組みを進めていき
魅力ある議会づくりに取り組んでいきます。





議会が取り組む事項
★議会活動の充実
★議会広報・広聴の充実
★報酬減額規定の策定

